

凜 凜

発行：2011年 4月28日（水）

生徒指導部 生活指導係

第一号

～生徒のみなさんへの omoigoto～

凜凜→勇ましいさま。

りりしいさま。

Omoigoto→おもいごと【思い事】

願い望んでいること。

タイトルである「凜凜」は私の理想とする生徒像の中の一つです。

生徒指導の係教員として今年度、マナーや校則を自主的に守ることの重要性をこの紙面で伝えていきたいと考えています。また、そもそも決められたことを守ることはごく当たり前のことであり、普段言われていることは特別なことではないということについても十分、理解してもらいたいと思います。

また、私のおもいごとと併せて生活委員の活動報告や生徒のみなさんへの協力依頼についてもお知らせしていきたいと考えています。

「凜凜」についてのコンセプトをおわかりいただけただけで、

みなさんは毎朝正門で挨拶はできていますか。

本校の生徒は「挨拶がきちんとできますね」と外部の方々からしばしばお褒めの言葉を頂く

ことがあるようです。正直、私は普通ではないかと思っていますが。

ただ普通とは言いましたが、校内でのみなさんの挨拶が私はとても好きです。ごく自然で強制的に「挨拶をさせられている」感が全くないからです。通りすがりの先生方、友人、先輩や後輩に対して自発的に挨拶する光景にとっても心が和みます。私の顔つきから私がそのように感じているなどと到底、イメージできないでしょうが。実は常にそう感じています。

しかし、朝の正門での立哨指導をしていると少々がっかりしてしまうことがあります。

門をくぐる足取りは重く、先生方に声をかけられても俯いたままだったり、「おはよう」と声をかけられていても黙って通り過ぎてしまったり（全員がそうであるとは言いません）。

日中できている挨拶が、朝だとなぜできないのか。眠いのか、宿題をやっていないのか、満員電車で窮屈だったのか、朝食を摂っていないのか、前の日に何か嫌な事があったのか、友達とのトラブルか。

心に抱える気がかりな事が何もない人はまずいないでしょう。でもなぜあんなに気重そうなのか。

みなさん。勘違いしないでください。先生方は毎朝、正門で立ちながら時には制服や髪についてなど違反している生徒を呼び止めて指導する時もあります。しかし朝の先生方の立哨指導は生徒のみなさんを気持ちよく校内に迎え入れるという事が一番の目的なのです。正門を入

るや否や、ここぞとばかりに呼び止め説教しようなどとだれも考えてはいません。廊下で一人の先生とすれ違うのとは違い、かなりの人数で正門にいらっしゃいますが、何もみなさんが萎縮する必要はありません。堂々と日中と同様に気持ちのよい挨拶を元気よく交わしてください。もしも正門で立つ先生を見掛け「何か言われたら嫌だな」「呼び止められたらどうしよう」などと思っている人がいたとしたら、それは違反している何かに心当たりがあるのではないのでしょうか。

耳の劈く音

HRや授業のはじめと終わりにみなさんは必ず起立し礼をしますね。その際、とてつもない大きな耳障りの良くない音がしているのに気づいていませんか。

私は今年の3年生を1年生の時から担任しています。2年前の春に学年主任の先生から指導上注意すべき点をいくつか発表されましたがその項目の中に授業のはじめと終わりの挨拶の際、椅子を引きずる音を立てずに挨拶ができるようにという事項がありました。

そういえば、古い建屋の2号館は下の階にいても上の教室の椅子を引く音が大きく聞こえる。隣の教室から聞こえてくることももちろん。自分が教室にいて、自分のクラスも大きな音がする。その2年前からとにかく事あるごとに注意を促し続け、クラスの生徒たちとも良い方法はないかと真剣に策を検討したこともありました。そして今年が3年目です。新学期がはじまり、やっと各々こちらが言わずとも椅子を気にしている光景を目にすることができました。中には数名、音を立ててしまう生徒もいますがその生

徒には周囲の視線が即座に突き刺さります。簡単なようで、完璧ではないまでもここまで気をつけてもらうまでに2年も掛かってしまいました。普通に立ったら音を立ててしまう。それを気にしていたら音はしません。しかしなかなか、気にしていられないようです。

もしも、友達との会話中に「〇〇ちゃん鼻毛出ているよ！」と言われたらその人は、その瞬間から常に鼻毛を気にするはずです。

ガラスに自分の顔が映れば真っ先に鼻を見てトイレでは鏡で髪を直すふりをしながら目は鼻を凝視しているはず。そうやって、気にしながら誰だっていられるはず。気にしなくても気になるでしょう。

そこまで気にして欲しいとは言いませんが実際、その椅子を引く音が響いてしまっているクラスが少なくないのは事実です。

目の前の人の姿や上辺の言葉だけに反応するのではなく、自ら周囲の状況にも敏感に気遣えるようになりましょう。

是非、クラス全体としても呼びかけあいながら授業のはじめと終わりの挨拶が静粛にできるよう心がけてみてください。

生活指導 関口

【あとがき】

第一号は二つの内容について掲載させていただきました。今後もみなさんの身近な生活面についてふれていきたいと思っています。

また、第二号では生活委員会委員長のあいさつや委員会の活動計画についてもお知らせします。